

鹿児島県宇検村の中学生と七ヶ宿町で体験交流

12月25日から28日までの4日間、友好都市である鹿児島県宇検村の中学1・2年生と引率者の総勢35名が来町し、七ヶ宿町の中学1・2年生と体験交流を行いました。

1日目は夕方に仙台空港へ到着し、その後SENDAI光のページェントを見学しました。

2日目は地下鉄で仙台駅へ行き、家族へのお土産を選びました。午後は閉上の記憶で語り部さんによる震災の講話を聴きました。実際に閉上で震災を経験した丹野さんのお話に生徒たちは真剣に耳を傾けていました。夕方からは七ヶ宿へ移動し、七ヶ宿ダムを見学しました。ダムの仕組みを教してもらいながら、イルミネーションも一緒に楽しみました。夜はおたてで七ヶ宿の中学生と一緒にクリスマス会をしました。夏の宇検村での交流と同じ班で集まり、5ヶ月ぶりの再会に会話を弾ませました。



3日目は七ヶ宿スキー場でスキー体験を行いました。初めは中々滑れなかった宇検の生徒たちも、講師や七ヶ宿の生徒たちに教えられ、午後にはスキーを上手にコントロールできるようになっていました。

今年の宇検村との交流は、コロナ禍で3年越しの実施となりました。今後も宇検村との交流を重ねていき、子どもたちが普段と違う環境や人とふれ合い、様々な体験や交流をすることにより、新たな発見や出会い・経験を得る機会にしていきます。